5 iStorage NSのその他の使い方

◆ ネットワーク上のプリンタを使う

◆ 削除済みのファイルを完全に消去する

◆ iStorage NS上のファイルを高速検索する

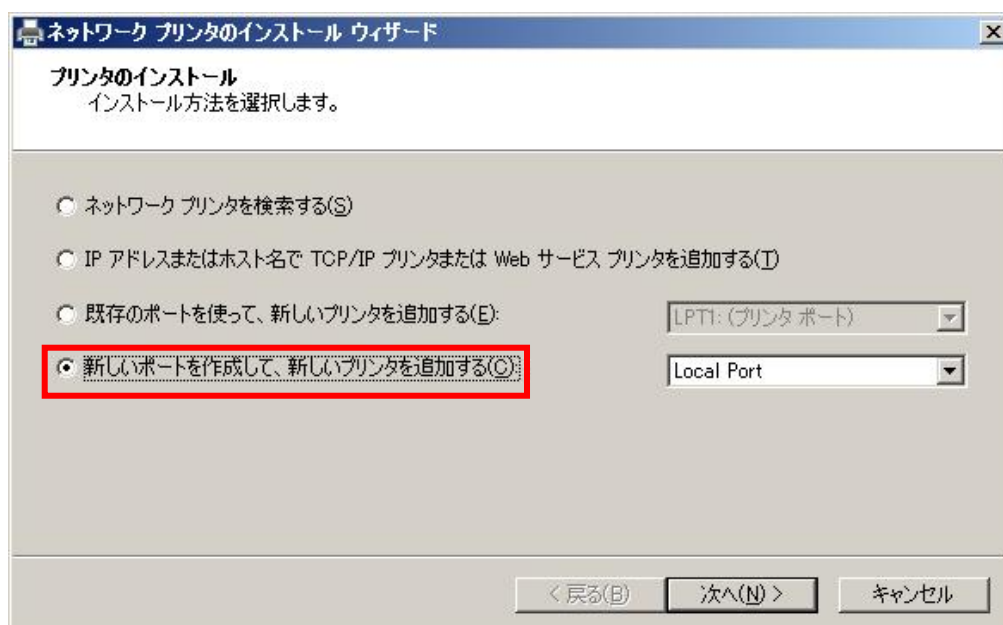
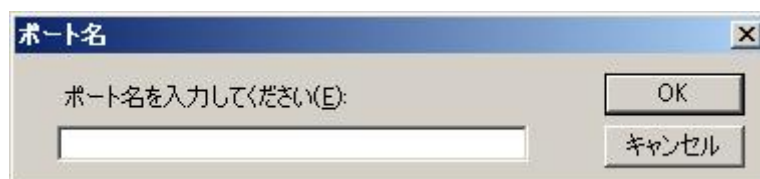
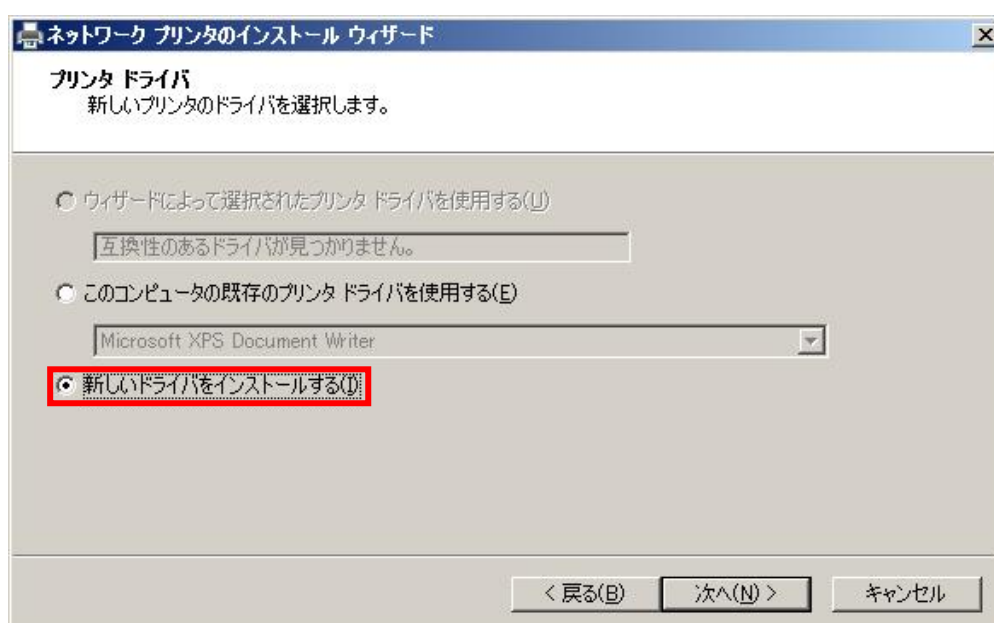
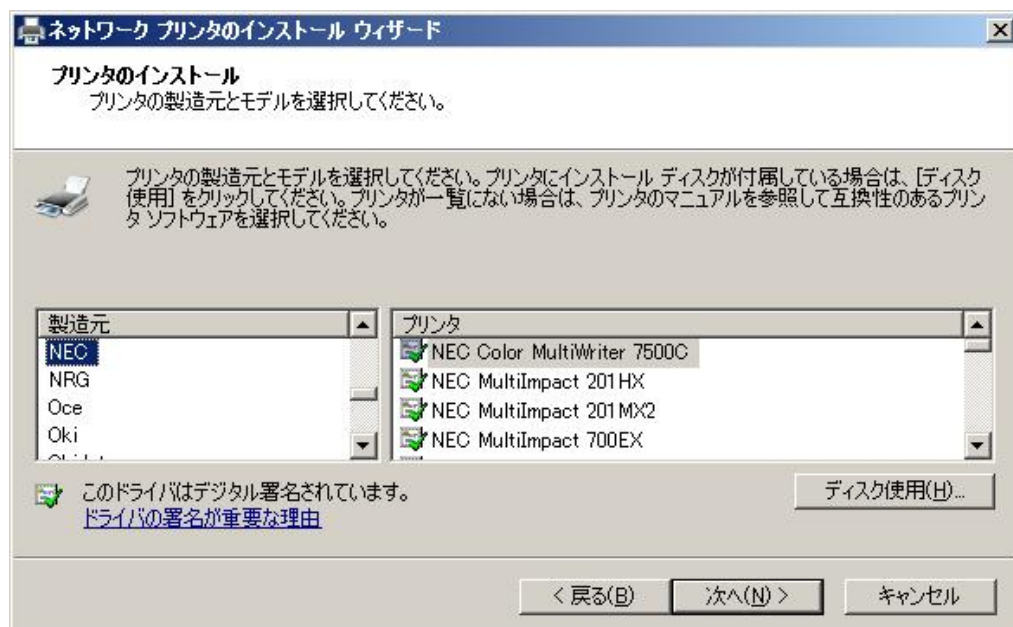
5.1 ネットワーク上のプリンタを使う

5.1.1 ネットワークプリンタの追加

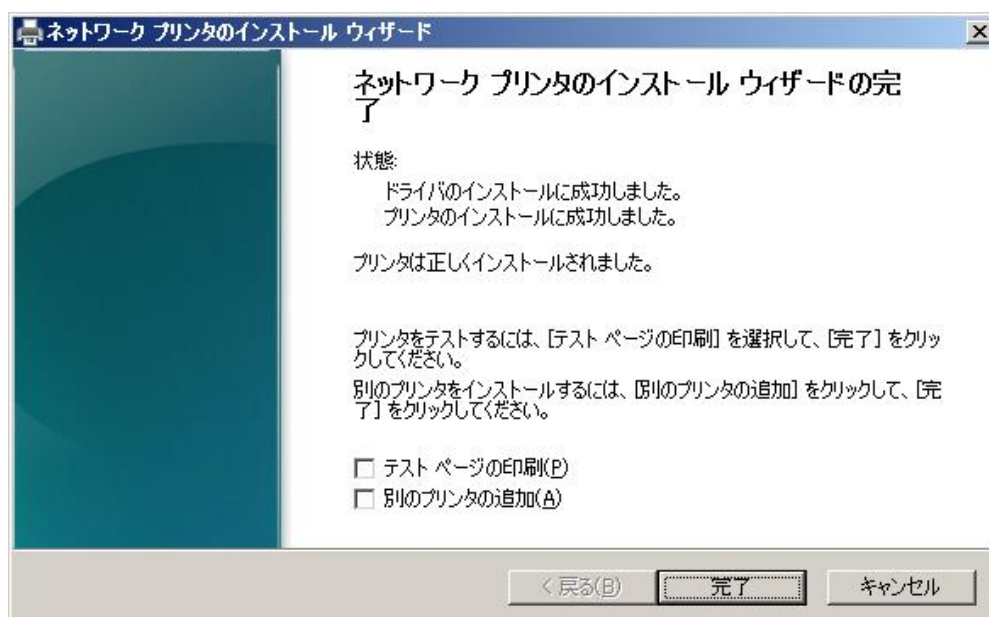
iStorage NS にプリンタを追加するには、以下の手順に従ってください。なお、プリンタに添付されたプリンタドライバがある場合は、プリンタのマニュアルに従ってプリンタドライバをインストールしてください。

1. 管理者メニューから [印刷の管理] を起動し、[プリントサーバー] をクリックします。

2. 印刷の管理ツリーで、目的のサーバーを右クリックして表示されるメニューから [プリンタの追加] をクリックします。

3. ネットワークプリンタのインストールウィザードの [プリンタのインストール] 画面で、[新しいポートを作成して、新しいプリンタを追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

4. [ポート名] を入力して、[OK] をクリックします。

5. [プリンタドライバ] 画面で、[新しいドライバをインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。

6. [プリンタのインストール] 画面で、[製造元] と [プリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。該当するプリンタが一覧にない場合は [ディスク使用] クリックしてファイルの場所を指定します。

7. [プリンタと共有設定] 画面で場所とコメント(省略可能) を入力して、[次へ] をクリックします。

8. [プリンタが見つかりました] 画面で、[次へ] をクリックします。

9. [ネットワークプリンタのインストールウィザードの完了] 画面で、[完了] をクリックします。

5.2　削除済みのファイルを完全に消去する

ファイルやフォルダをゴミ箱から消去したり、パーティションを削除しても、ディスク領域への割り当て解除が行われるだけでデータ自体はディスク上に残るため、特殊なツールを使用するとファイルの内容を復活させることが可能です。情報漏えいを防止するためにもデータは完全に消去しておく必要があります。

iStorage NS では、空き領域（ファイルやフォルダが割り当てられていない領域）を特定のデータで上書きすることでディスク上のファイルデータを消去する、ディスク・ワイプと呼ばれる機能が標準で用意されています。ディスク・ワイプには cipher コマンドの /w オプションを使用します。以下の手順で削除済みファイルを消去することができます。

1. 管理者メニューからコマンドプロンプトを起動します。

2. 以下の構文でコマンドを実行します。

   cipher /w:*driveletter*

   例えば、D ドライブ内の削除済みデータを消去する場合は、以下のコマンドを実行します。

   cipher /w:d:

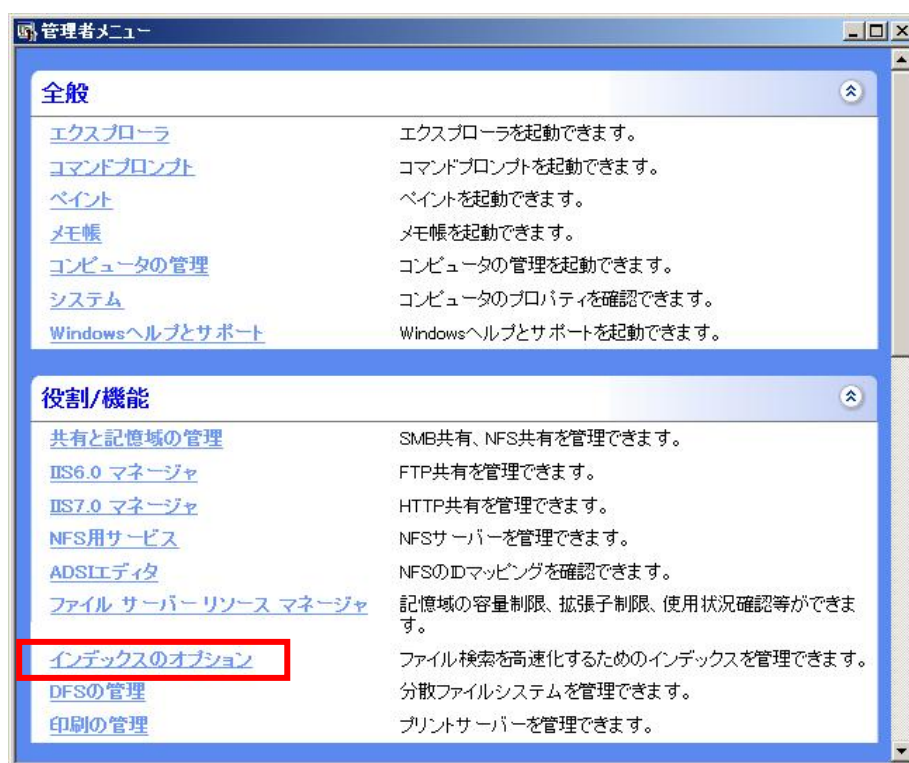
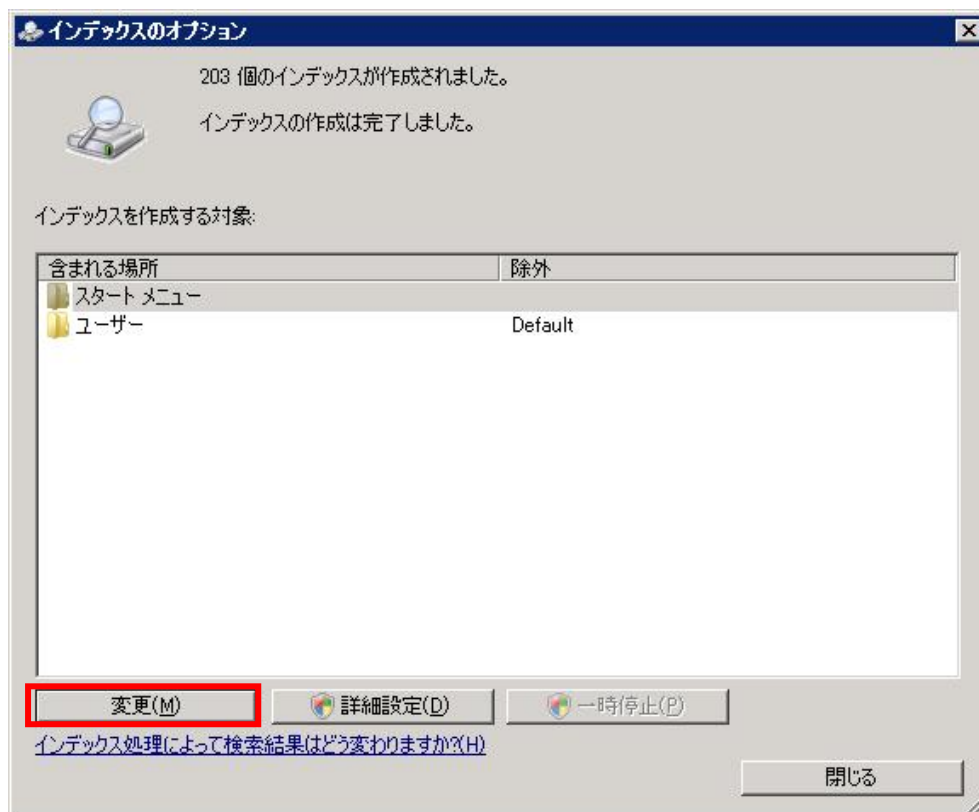
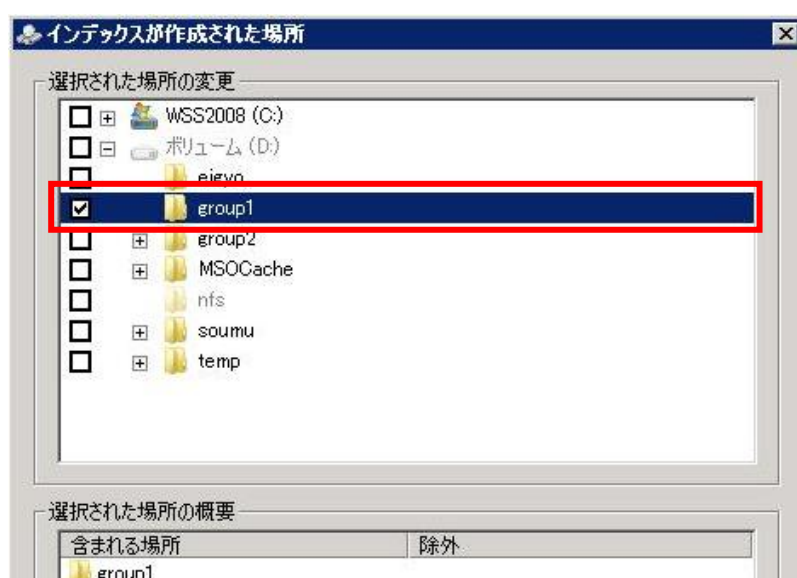
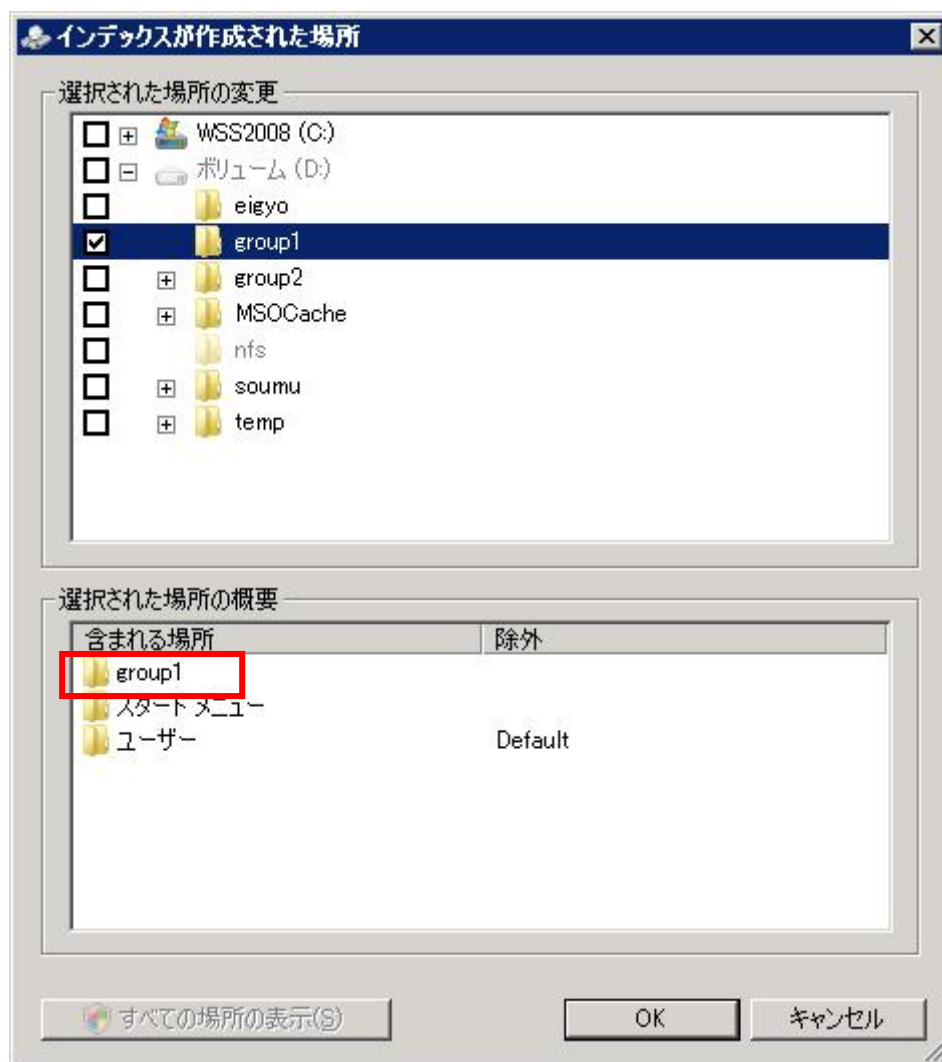
処理が完了すると、プロンプトに戻ります。既存のファイルおよびフォルダを残して空き領域が上書きされ、データが消去されます。

【注意】
- cipher /w コマンドでは、空き領域のみを上書きします。実行前には不要なファイルやフォルダを削除しておいてください。
- 上書きする領域が大きい場合は、処理に時間がかかることがあります。
- NTFSボリュームのみで実行可能です。
- 正しく消去されたことを確認する方法はありません。

5.3 iStorage NS上のファイルを高速検索する

Windows サーチサービスは、iStorage NS 上のファイルのインデックスを作成し、クライアント PC からのファイル検索を高速化する機能です。ここでは、高速検索を行うフォルダを登録する手順を説明します。

【注意】
- クライアントPC が Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、それぞれの装置に Windows デスクトップサーチがインストールされている必要があります。
- 検索対象のサーバーを指定する場合は、コンピュータ名で指定してください。 IP アドレスで指定した場合は、検索にインデックスが使用されません。

1. 管理者メニューの [インデックスのオプション] をクリックします。

2. [変更] ボタンをクリックします。

3. [選択された場所の変更] で、インデックスを作成するフォルダを選択します。

4. [選択された場所の概要] に項番 3 で有効にしたフォルダが追加されたことを確認して [OK] ボタンをクリックします。

5. [閉じる] ボタンをクリックして、[インデックスのオプション] 画面を閉じます。